

第十回 神恩感謝

響き合う心、二千年の祈り、  
神々の里伊勢に集う

- 愛宕陣太鼓連響風組〈福島〉
- 大江戸助六太鼓〈東京〉
- 和太鼓大元組〈東京〉
- 八丈太鼓の会〈東京〉
- 高野右吉と秩父社中〈埼玉〉
- 銚子はね太鼓保存会〈千葉〉
- 御陣乗太鼓〈石川〉
- 和太鼓零〜ZERO〜〈愛知〉
- 和太鼓xマリンバ GONNA〈愛知〉
- 尾張新次郎太鼓〈愛知〉
- 和太鼓ユニット光〈愛知〉
- 舞太鼓あすか組〈奈良〉
- 「TA・KU・MI」〈兵庫〉
- 備中温羅太鼓〈岡山〉
- 熊野鬼城太鼓〈三重〉
- 神恩太鼓〈三重〉

# 日本太鼓祭

## 奉納太鼓演奏

おかげ横丁「太鼓櫓」、  
五十鈴川河川敷特設舞台、  
五十鈴川野遊びどころ中庭会場

## 体験教室

おかげ横丁「大黒ホール」  
〈でんでん太鼓作り・ミニ太鼓作り/協力: 榊浅野太鼓楽器店〉

2012  
**9/8 土・9 日**

**10:00~17:00 入場無料**

※雨天の場合、内容が一部変更または中止になる場合がございます。

- 主催: 神恩感謝 日本太鼓祭実行委員会
- 協賛: (株)赤福、(有)伊勢福、(株)アイティービー
- 後援: 三重県、伊勢市、伊勢市教育委員会、(社)伊勢市観光協会、NPO法人五十鈴塾、(財)浅野太鼓文化研究所、三重交通(株)、近畿日本鉄道(株)、伊勢おはらい町会議、(株)ぎゅーとら、(株)ササヤマ

伊勢内宮前  
**おかげ横丁**  
総合案内 電話 0596(23)8838  
〒516-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52  
<http://www.okageyokocho.co.jp/>



# 第十回 神恩感謝 日本太鼓祭

## 出演者プロフィール

**愛宕陣太鼓連響風組** (あたごじんだいいこれんきょうかぜぐみ) 【福島】  
1994年夏、福島市松川町に誕生。男ばかりでの宮太鼓のみの演奏により、強さ、激しさ、哀愁を表現する。規律・統制・情熱を秘め、各自の熱い鼓動により「太鼓道」の至高を目指し貫く。

**大江戸助六太鼓** (おおえどすけろくだいいこ) 【東京】  
湯島天神第1回盆太鼓コンクール優勝者の小林正道を始め、歴代入賞者が参加して、東京下町の盆太鼓を発展させ、東京初の和太鼓のみの組太鼓「助六太鼓」として活動を開始。その後、さらなる舞台芸術としての発展を目指し、「大江戸助六太鼓」となり現在に至る。

**和太鼓大元組** (わだいでいげんぐみ) 【東京】  
国内外問わず、様々なステージにて「和太鼓」のジャンルにとらわれず演奏活動を展開する。和太鼓の魅力を広く伝えようと、2003年にスタジオを構え邦楽カルチャースクール「studio邦楽アカデミー」を設立。同スタジオでの各種邦楽講座をはじめ、各種教育機関、また他の和太鼓チームにも指導者として赴き活動を広げている。

**八丈太鼓の会** (はちじょうたいこのかい) 【東京】  
昔、刀を失った流人が、その鬱憤を晴らすべく二本のバチに託して打ち鳴らし始めたこととされる。二人による両面打ちが織りなす独自のリズムは軽やかで、また、打ち手の、日によって変わる気分を雄弁に語る。太鼓の音に合わせて唄う太鼓節は東京都の無形文化財に指定されている。

**高野右吉と秩父社中** (たかのうきちとちちぶしやちゅう) 【埼玉】  
秩父屋台囃子は「京都の祇園」、「飛騨の高山」と並んで日本三大曳山祭にあげられる国指定重要無形文化財秩父夜祭にて山車の中で演奏されるお囃子。当会は、昭和30年、無形文化財秩父屋台囃子保持者に指定された、初代高野右吉により結成。太鼓道場「講文館」を中心にして後継者を育成しており、現在門下生は1,025名を数える。

**銚子はね太鼓保存会** (ちょうしはねだいいこほぞんかい) 【千葉】  
はね太鼓は、江戸時代から銚子だけに伝わる非常に珍しい太鼓で、銚子市無形文化財に指定されている。二人の打ち手が太鼓を担ぎ上げ、首とあばらで太鼓を支えながら打って跳ね、跳ねては回り、太鼓もとも宙を舞う。極めつけは「わかせ打ち」。担ぎ手の一人を抱え込み地に這わせ太鼓を打ちまくる黒潮躍る海の男の力と技の太鼓である。

**御陣乗太鼓** (ごじんじょうだいいこ) 【石川】  
輪島市名舟町に古くから伝わる太鼓で、天正5年(1577年)、上杉謙信の能登攻略のとき、古老の一計で、奇妙な面を被り、陣太鼓を打ち鳴らし上杉軍に奇襲をかけた敗走させたのが始まりといわれる。昭和36年に輪島市指定文化財に、昭和38年には石川県無形文化財に指定される。また、御陣乗太鼓は打ち手だけのものではなく、名舟町全体のものであり、その伝承は地元で生まれた者のみに限られている。

**和太鼓零〜ZERO〜** (わだいこぜろ) 【愛知】  
2004年11月結成。愛知県岡崎市を拠点に活動。20代を中心とした若手メンバーで構成されている。和太鼓の、活きた音を届けたい、人の心に奥深く届く本当の響きを伝えたい。そんな想いを、日本の伝統文化である和の良さを残しつつ、現代的にアレンジされた曲で表現している。

**和太鼓×マリンバ GONNA** (わだいこかけるまりんば がな) 【愛知】  
2003年、名古屋にて結成。ワールドミュージックとしての和太鼓を迫り、マリンバとのアンサンブルという独特のスタイルに至る。和太鼓の波にマリンバの響きが乗り、マリンバのメロディーに和太鼓がアクセントをつける。演奏スタイルは自在であり、1,000席を超える大ホールでのコンサートから、カフェや寺院などの小スペースでのライブまで、楽器構成と演出によりシチュエーションに応じて演奏する。多彩なレパートリーの曲を持ち、和太鼓ファンに限らず、幅広い音楽ファンの注目を集めている。

**尾張新次郎太鼓** (おわりしんじろうたいいこ) 【愛知】  
尾張地方の名古屋西南部から海部郡にかけての祭り囃子であり、戦後しばらく忘れられていたものを昭和40年頃に名古屋の西川新次郎が苦心の末、復活させる。一つは神楽太鼓で、固質の胴に皮をパンパンに張った太鼓を細割りの竹のバチで打ち、もう一つは「曲太鼓」で、両膝を着いての宮太鼓と締太鼓を一セットとする軽快な打芸である。曲バチの見事さは他に類がない。

**和太鼓ユニット光** (わだいこゆにっとこう) 【愛知】  
1999年、羽田康次、はだひかるにより結成。愛知県を拠点に日本国内での公演やツアー、海外への遠征など精力的に活動。また、地元愛知県知立市において「和太鼓の祭典光響彩」を2年に一度開催。来年6月に第7回目を迎える。その他、各種イベントへの参加、様々なアーティストとのコラボレーションを行うなど、精力的に活動している。

**舞太鼓あすか組** (まいだいいこ あすかぐみ) 【奈良】  
1990年、飛鳥大五郎により創設された和太鼓集団。和太鼓の力強さに日本舞踊の持つ優雅なフォームを融合させたスタイルで、日本の美を再認識させる舞台を創作し、国内外で公演を行っている。フランス五大陸国際音楽祭、イスタンブール国際音楽祭等に出演。カイロ、オハラハウスでの公演はスタンディングオベーションの喝采を受ける。世界最大の芸術祭イギリス「エジンバラ・フリンジ」での1ヶ月公演は、英国の各メディアより、5つ星の評価を得、「観衆の世代をこえた、音楽とパフォーマンスの世界共通言語がここにある」と絶賛された。

**「TA.KU.MI」** (たくみ) 【兵庫】  
新潟県佐渡島出身、鬼太鼓座に参加、のち1996年太鼓グループ「たくみ」を結成。国内をはじめアメリカ、フランス、中国、オーストラリアなど海外での公演は20カ国以上にのぼる。またアマチュア太鼓集団の指導にも力を入れ、その情熱あふれる指導には定評がある。

**備中温羅太鼓** (びっちゅうらだいいこ) 【岡山】  
昭和51年「雪舟たる太鼓」として結成し、その後、地元岡山県総社市に古くから伝わる温羅伝説(桃太郎の原形)に因み「備中温羅太鼓」と改名。県内はもとより国内・海外と「ゆらぎ」と「感動」、そして「観客との一体感」を目指し活動を続けている。

**熊野鬼城太鼓** (くまのきじょうだいいこ) 【三重】  
紀州熊野の荒々しくも美しい自然、温かい風土に育まれてきた文化や文芸、昔から語り継がれてきた民話の数々を和太鼓の力強いサウンドにのせて、広く多くの人々の心にアピールしたいという志のもと昭和63年に結成。以来、形式にとらわれない独自のスタイルの和太鼓作りに励み、観てよし、聞いてよし、人の心に響く音を求め、舞台上上がっている。

**神恩太鼓** (しんおんだいいこ) 【三重】  
1992年、伊勢神宮内宮前おかげ横丁の誕生とともに結成。今回は二次編成チーム。伊勢の風土をいっばいに感じながら、おかげ横丁の基本精神「神恩感謝」を太鼓の音で表現すべく演奏している。

## 太鼓体験

『音の教室・でんでん太鼓作り』

- 時間：10:00～11:30、15:00～17:00(所要時間約30分)
- 場所：おかげ横丁「大黒ホール」(名産味の館2階)
- 参加費：500円

『音の教室・ミニ太鼓作り』(協力:(株)浅野太鼓楽器店)

太鼓の老舗「浅野太鼓楽器店」協力の下、世界にひとつだけのオリジナル太鼓を作っただけの体験教室です。ケヤキの胴に革を張る、ミニ太鼓とは思えない本格派です。

- 時間：12:30～14:00(所要時間約90分)
- 場所：おかげ横丁「大黒ホール」(名産味の館2階)
- 参加費：有料(両日とも1日先着20名)
- 受付：当日10:00より、「大黒ホール」にて受付

## どんでん屋台

太鼓を中心とした鳴り物玩具、法被や足袋などの祭衣装、季節の食べ物など、賑やかで楽しい屋台がズラリと並びます。

- 時間：10:00～17:00
- 場所：おかげ横丁内特設屋台

## 限定メニューの販売

旬の食材を使った太鼓祭限定の料理をご用意いたしております。

- 時間：各飲食店開店時間～なくなり次第終了
- 場所：すし久、海老丸、とうふや、ふくすけ、団五郎茶屋、はいからさん、野あそび棚

## ■開催場所のおかげ横丁とは？

伊勢神宮内宮前門町の真ん中にある「おかげ横丁」。老舗の味、名産、歴史、風習、人情など、この土地の魅力が約50ものお店に凝縮されています。一年を通して、伊勢地方ならではの、また季節の移り変わりを楽しめる「まつり」や「市」も開催しています。

## ■交通のご案内

【公共交通機関で】近鉄名古屋から近鉄特急で約85分「宇治山田駅」下車。大阪難波から近鉄特急で約110分「宇治山田駅」下車。駅から三重交通「内宮前」行きバス約20分、「神宮会館前」下車、徒歩1分。  
【車で】伊勢自動車道「伊勢IC」から、国道23号を内宮方面に直進「市営駐車場」着(約5分)、徒歩約5分。



伊勢内宮前  
おかげ横丁  
問い合わせ 電話 0596(23)8838  
〒616-8568 三重県伊勢市宇治中之町52  
http://www.okageyokocho.co.jp/